

「授業時間外学修」の記入について【大学・大学院】

標記の件につきまして、以下を参照のうえ、シラバスの作成を宜しくお願いいたします。

大学設置基準ならびに学則にて求められる学修時間を考慮した授業と授業時間外学修の合計時間は、以下のとおりとなります。授業と授業時間外学修の合計時間数が、求められる学修時間を満たすように記入してください。（次項記入例参照）

[講義・演習科目]・2単位科目：求められる学修時間 90 時間

内訳<授業 30～60 時間、授業時間外学修 60～30 時間>

・1単位科目：求められる学修時間 45 時間

内訳<授業 15～30 時間、授業時間外学修 30～15 時間>

[実験・実技科目]・2単位科目：求められる学修時間 90 時間

内訳<授業 60～90 時間、授業時間外学修 30～0 時間>

・1単位科目：求められる学修時間 45 時間

内訳<授業 30～45 時間、授業時間外学修 15～0 時間>

補足：実習科目については単位数に応じた学修時間を満たすように、必要に応じて授業時間外学修について記入してください。

➤ 記入のポイント

授業時間外学修について、その内容とともに目安となる時間数を記入してください。

- ◆ 各回によって求める内容や目安となる学修時間が異なる場合は、回数毎に記入してください。
- ◆ 内容の望ましい記入例・不適切な記入例
  - 「教科書指定範囲を事前に熟読し、用語や事項について調べておくこと（予習：○時間程度）」
  - 「授業で扱うテーマについて、下調べしておくこと（予習：○時間程度）」
  - 「授業後に学習事項と要点、考察をまとめること（復習：○時間程度）」
  - 「授業後に小レポート（○○字程度）を作成し、次回授業で提出すること（復習：○時間程度）」
  - ×「教科書の予習／復習」←時間数の明記がない
  - ×「別途指示」「授業の際に指示します」←具体的な記載となっていない、時間数の明記がない

以上  
次項へ（記入例）

問い合わせ先：

草薙キャンパス教務課 054-297-6133

瀬名キャンパス事務課 054-263-1125

水落キャンパス教務課 054-297-3202

浜松キャンパス教務課 053-428-7728

「授業時間外学修」欄 単位数・授業形態別記入例

(1) 2 単位科目（講義・演習）の場合

毎回、授業前に、教科書の指定範囲を読み、用語の下調べや疑問点等をまとめる（予習：2 時間程度）。毎回、授業後に、教科書や資料を再読し、学習事項と要点、考察をまとめたワークシートを作成する（復習：2 時間程度）。

授業 2 時間×15 回=30 時間、授業時間外学修 4 時間×15 回=60 時間、合計学修時間 90 時間

(2) 1 単位科目（講義・演習）15 回授業の場合

各回のテーマに関する過去の報道記事の閲覧と授業後の教科書や資料の再読（1 時間程度）。

授業 2 時間×15 回=30 時間、授業時間外学修 1 時間×15 回=15 時間、合計学修時間 45 時間

(3) 1 単位科目（講義・演習）8 回授業の場合

各回のテーマに関する文献の閲覧（予習：2 時間程度）。

授業後に、考察をまとめたワークシートを提出する（復習：2 時間程度）。

授業 2 時間×8 回=16 時間、授業時間外学修 4 時間×8 回=32 時間、合計学修時間 48 時間

(4) 2 単位科目（実験・実技）連続 2 コマ開講の場合

毎回、授業前に、教科書の指定範囲を読み、用語の下調べや疑問点等をまとめる（予習：1 時間程度）。毎回、授業後に、教科書や資料を再読し、学習事項と要点をまとめる（復習：1 時間程度）。

授業 4 時間×15 回=60 時間、授業時間外学修 2 時間×15 回=30 時間、合計学修時間 90 時間

(5) 1 単位科目（実験・実技）の場合

各回のテーマに沿った教科書範囲を読み、授業時に実践する内容をまとめ、授業後に、実践結果についての考察をまとめる（1 時間程度）。

授業 2 時間×15 回=30 時間、授業時間外学修 1 時間×15 回=15 時間、合計学修時間 45 時間

補足：実習科目については単位数に応じた学修時間を満たすように、必要に応じて授業時間外学修について記入してください。